

<b>イマズスルフロン・ダイムロン・フェントラザミド・プロモブチド粒剤</b> <b>ビッグシュアエース 1 キロ粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> バイエル <b>原体メーカー：</b> 住友化学，エス・ディー・エス， バイエル，住友化学
<b>成分：</b> イマズスルフロン〔スルホニルウレア系〕………0.90% ダイムロン〔尿素系〕………4.5% フェントラザミド〔テトラゾリノン系 PRTR・1 種〕…3.0% プロモブチド〔酸アミド系〕………9.0%	<b>性状：</b> 類白色細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】 ……………

- スルホニルウレア抵抗性のホタルイ、アゼナ類、コナギに高い殺草効果がある。
- 水稲に対する安全性が高く、田植同時処理に最適な水稲一発処理除草剤である。
- 田植同時期からノビエ2.5葉期まで使用可能で一発処理剤としても使用でき、一年生から多年生雑草まで幅広い効果がある。
- 田植と同時に処理しても、通常の圃場条件では既存の一発剤と同じく1回の散布で雑草を防除できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】 ……………

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ヘラオモダカ エゾノサヤマカグサ ミズガヤツリ	2 葉期まで
ウリカワ	2 葉期まで（移植水稲） 発生始期まで（直播水稲）
ヒルムシロ	発生期まで
オモダカ クログワイ	発生始期まで
セリ	再生前～再生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前

●移植前に発生したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用する。

### 【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】 ……………

- 魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移 植 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (北海道、東北) クログワイ (北海道を除く) オモダカ (北海道を除く) ミズガヤツリ (北海道を除く) ウリカワ ヒルムシロ セリ エゾノサヤヌカグサ (北海道) アオミドロ・藻類に よる表層はく離	砂壤土 ～埴土	移植時	1 kg	田植同時 散布機で 施用	全域の普 通期及び 早期栽培 地帯	1 回※
			移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで		湛水散布		
直 播 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ		稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			全域	

※イマゾスルフロンを含む農業の総使用回数：2回以内

※ダイムロンを含む農業の総使用回数：移植水稻3回以内(育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)  
直播水稻2回以内

※フェントラザミドを含む農業の総使用回数：1回

※プロモブチドを含む農業の総使用回数：2回以内